

基本構想実施計画 第1期→第2期への変遷

第1期

■ 前文

なし

■ 政策の柱

※朱書きアルファベットは、基本構想に掲げる政策の方向性

人

A. 生涯を通じた健康づくりと健康管理による予防

人-(1)生涯を通じた健康づくり

- (1)-①健康増進に向けたいきいきとした暮らしの推進
- (1)-②病気の予防と健康管理の充実

B. 生まれてから人生の最終段階まで切れ目のない適切な医療福祉サービスの提供

人-(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進

- (2)-①効率的かつ質の高い医療提供体制の構築
- (2)-②高齢者の暮らしを支える体制づくり
- (2)-③滋養の医療福祉を支える人材の確保・定着・育成

C. 誰もが居場所や生きがいを持ち、生涯を通じて自分らしく活躍できる社会づくり

人-(3)文化やスポーツを通じた元気な地域づくり

- (3)-①スポーツで元気な地域づくり
- (3)-②文化力を高め、発信することによる元気な地域づくり

D. 社会全体で子どもを育む環境の整備

人-(4)子どもを安心して生み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会づくり

- (4)-①子どもを生み育てやすい環境づくり
- (4)-②子ども・若者を社会全体で応援
- (4)-③困難な課題を有する子ども・若者を支える

E. 子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育

人-(5)子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育

- (5)-①子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む

F. 生涯学び続け、様々な分野で活躍し続けることができる社会づくり

人-(6)誰もが働き、活躍できる柔軟で多様なライフコース

- (6)-①誰もが活躍できる多様な働き方の推進
- (6)-②学び直しや再挑戦しやすい環境づくり

次ページの **社会** の視点より

M. 多様性を認め、互いに支え合う共生社会づくり

社-(6)多様性を認め、互いに支え合う共生社会の実現

- (6)-①誰もがその人らしく、居場所があり活躍できる共生社会の実現

第2期案

■ 前文

新 策定にあたって

■ 政策の柱

A. 生涯を通じた健康づくりと健康管理による予防

B. 生まれてから人生の最終段階まで切れ目のない適切な医療福祉サービスの提供

C. 誰もが居場所や生きがいを持ち、生涯を通じて自分らしく活躍できる社会づくり

政策1 からだとこころの健康づくり

- 新** ①振興感染症にも対応できる強い健康危機管理体制づくりの推進
- ②多様な主体による健康づくりの推進
- ③病気の予防と健康管理の充実
- ④適切で質の高い、持続可能な医療・福祉を提供する体制の構築と人材の確保・育成・定着
- ⑤高齢者の暮らしを支える体制づくり
- 新** ⑥「食べる健康」の推進
- ⑦こころの悩みに寄り添う対策の充実
- ⑧文化財の保全と活用
- ⑨文化芸術を楽しむ機会と環境づくり
- ⑩「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を契機としたスポーツを楽しむ（「する」「みる」「支える」）環境づくり
- 新** ⑪魅力ある公園づくり
- 新** ⑫人と動物の豊かな関わり

D. 社会全体で子どもを育む環境の整備

政策2 子どもを真ん中においた社会づくり

- ①生まれる前からの切れ目のない子育て支援
- ②「滋養の宝」である子ども・若者を社会全体で応援
- ③困難な状況にある子ども・若者を支える
- 新** ④子どもの目線で社会をつくる仕組みづくり

E. 子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育

政策3 生きる力・確かな学力の向上と笑顔あふれる学校づくり

- ①確かな学力と子どもの個性を大切に生きる力を育む教育
- ②ICTを活用した効果的で多様な学びの支援
- 新** ③笑顔あふれる学校づくりの推進

F. 生涯学び続け、様々な分野で活躍し続けることができる社会づくり

M. 多様性を認め、互いに支え合う共生社会づくり

政策4 「自分らしさ」が大切にされ、誰もが活躍できる共生社会づくり

- ①障害のある人や外国人をはじめ、誰もが活躍できる多様で柔軟な働き方の推進
- ②学び直しや再挑戦、異分野・異業種への参入がしやすい環境づくり
- 新** ③県立大学における学びの充実
- ④障害のある人や外国人をはじめ、誰もが「自分らしさ」が大切にされ、居場所があり、活躍できる共生社会の実現
- 新** ⑤女性活躍の推進
- 新** ⑥人権尊重の社会づくり
- 新** ⑦暮らしを支えるセーフティネットの充実

政策の柱 (つづき)

経済

G. グローバルな経営視点や先端技術等による競争力を有する強い県内産業の創出

経-(1)成長市場・分野を意識した産業創出・転換

- (1)-①先端技術等を活用した新たな市場展開や交流によるイノベーションの創出
- (1)-②滋賀ならではの特色を活かした観光の創造

H. 働き方の多様化と働く場の魅力向上による多様な人材の確保と事業承継の支援

経-(2)人材確保と経営の強化

- (2)-①人材の確保・定着
- (2)-②経営の強化・事業承継

I. 生産性の向上や高付加価値等による力強い農林水産業の確立

経-(3)生産性の向上や高付加価値化等による力強い農林水産業の確立

- (3)-①担い手の確保・育成と経営体質の強化
- (3)-②マーケットインの視点による農林水産業の展開
- (3)-③農林水産物のブランド力向上

社会

J. 社会インフラの整備とコンパクトで移動・交流しやすいまちづくり

社-(1)生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理

- (1)-①生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理
- (1)-②超スマート社会を支える環境づくり

社-(2)コンパクトで移動や交流しやすい交通まちづくり

- (2)-①暮らしやすいコンパクトなまちづくり
- (2)-②地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり

K. 自分たちの身近な暮らしを支える安全・安心な地域づくり

社-(3)暮らしを支える地域づくり

- (3)-①地域コミュニティを支える人材の育成等
- (3)-②地域の活性化に向けた移住促進と空き家の発生予防、利活用の促進

社-(4)安全・安心の社会づくり

- (4)-①災害に強い地域づくり
- (4)-②犯罪の少ない安全・安心の地域づくり
- (4)-③交通事故の少ない安全・安心の地域づくり

L. 農山漁村の持つ多面的価値の持続可能な継承

社-(5)農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承

- (5)-①農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承

M. 多様性を認め、互いに支え合う共生社会づくり

社-(6)多様性を認め、互いに支え合う共生社会の実現

- (6)-①誰もがその人らしく、居場所があり活躍できる共生社会の実現

環境

N. 琵琶湖を取り巻く環境の保全再生と自然の恵みの活用

環-(1)琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用

- (1)-①琵琶湖の保全再生と活用
- (1)-②生物多様性の確保、森林の多面的機能の発揮

O. 気候変動への対応と環境負荷の低減

環-(2)気候変動への対応と環境負荷の低減

- (2)-①気候変動への対応
- (2)-②環境負荷の低減

P. 持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力

環-(3)持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力

- (3)-①環境学習等の推進
- (3)-②調査研究・技術開発の推進、国際的な協調と協力

前ページの政策4へ

政策の柱 (つづき)

G. グローバルな経営視点や先端技術等による競争力を有する強い県内産業の創出

H. 働き方の多様化と働く場の魅力向上による多様な人材の確保と事業承継の支援

政策8 コロナ禍からの経済回復、経営の強化と次世代の産業の創出

- ①事業承継と起業の支援
- ②社会・経済情勢の変化に対応した事業展開の支援と先端技術を活用したイノベーション創出
- ③中小企業活性化施策の推進
- ④地場産業の技術力と発信力の強化
- ⑤世界の潮流を踏まえた産業創造(誘致)
- ⑥産業のひとづくりの推進、新しい滋賀の高専づくり

政策9 滋賀らしいツーリズム「シガリズム」の推進と地域の活力づくり

- ①新たな時代に対応する滋賀らしいツーリズム「シガリズム」の推進
- ②ビワイチの推進
- ③地域特産の魅力向上と振興
- ④移住促進、DXの推進などによる関係人口の創出
- ⑤首都圏などでの情報発信の充実

I. 生産性の向上や高付加価値等による力強い農林水産業の確立

政策10 持続可能な農林水産業の確立

- ①需要の変化に応じた農林水産物の生産振興
- ②「滋賀の幸」のブランド力向上と消費拡大
- ③農林水産業におけるグリーン化・スマート化の推進
- ④農林水産業の担い手の確保・育成
- ⑤世界農業遺産「琵琶湖システム」の次世代への継承
- ⑥森林資源の循環利用による促進と林業の成長産業化

J. 社会インフラの整備とコンパクトで移動・交流しやすいまちづくり

政策5 暮らしを支え豊かにする基盤づくり

- ①強靱な社会インフラの整備、維持管理
- ②グリーンインフラの推進
- ③暮らしをより豊かにするためのDX推進と人材育成
- ④図書館の機能とネットワークの充実
- ⑤みんなで熟議の滋賀県政

政策6 人々の幸せと地域の健康を支える交通まちづくり

- ①暮らしやすいコンパクトなまちづくりの推進
- ②公共交通の維持確保に向けた取組と新たな公共交通の仕組みづくり
- ③移動を支え合い交通をより良くするための税制(交通税)の検討推進

K. 自分たちの身近な暮らしを支える安全・安心な地域づくり

政策7 安全・安心な地域づくり

- ①災害にも強い地域づくり、防災人材の育成・確保
- ②犯罪・交通事故の少ない安全・安心な地域づくり
- ③空き家の発生予防・利活用と管理不全空き家の除却の促進
- ④地域特性に合ったコミュニティづくりと地域づくり人材の育成・確保

L. 農山漁村の持つ多面的価値の持続可能な継承

政策11 農山漁村の持つ多面的価値の発揮

- ①多様な主体が連携・協働した共同活用による地域資源の保全・活用

N. 琵琶湖を取り巻く環境の保全再生と自然の恵みの活用

政策12 琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用

- ①琵琶湖の保全再生と活用
- ②生物多様性の確保
- ③多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり

O. 気候変動への対応と環境負荷の低減

政策13 気候変動への対応と環境負荷の低減

- ①気候変動への対応
- ②発生抑制や再使用に重点を置いた3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、環境汚染物質の排出抑制等
- ④バイオマスの利用拡大による地域内資源循環の推進

P. 持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力

政策14 持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力

- ①環境学習等の推進
- ②調査研究・技術開発の推進、国際的な協調と協力

- 全体を通じて大切にする視点「ひとづくり」「子ども」
- CO₂ネットゼロ社会の実現
- DX推進